

令和3年第11回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 令和3年11月17日(水)

2. 場所 浅口市中央公民館第3会議室

3. 開 会 午前11時30分

4. 閉 会 午後0時25分

5. 出席者 中野留美 藤澤弘幸 佐藤賢次 高戸崇 吉田英子

6. 説明のために出席した者の氏名

教育次長	小山朋子	教育総務課長	藤澤智広
学校教育課長	小野力矢	こども未来課長	笠原清美
文化振興課長	安原直子	生涯学習課長	瀬良昌弘
金光分室長	中嶋利恵	寄島分室長	田中太志
学校給食センター所長	山本峯廣	学校教育課	福永瞳
教育総務課	山崎友紀	(事務局)	

7. 傍聴人 なし

8. 議 事

日程1 議事録署名委員について
浅口市教育委員会議規則第29条により佐藤委員を指名。
(了承)

日程2 会期について
本日11月17日の1日会期。
(承認)

日程3 議案第37号 準要保護の認定について
※非公開
(学校教育課長)
資料により説明。

(教育長)

2件認定とする。

(承認)

日程4 諸般の報告について

(こども未来課長)

浅口市子ども・子育て会議について

令和3年11月5日(金曜日)に浅口市子ども・子育て会議を開催した。その会議の内容について報告する。

①小規模保育事業所の整備について

浅口市子ども・子育て支援事業計画において、令和6年度までにおいて1歳2歳の保育の確保量が不足すると予測されることから、現在、0歳から2歳までの受け皿確保に向けて対策を進めていることを説明した。そして、この度令和3年6月にはちまん認定こども園及び10月に金光学園こども園を運営する2法人から、0歳から2歳児の保育施設となる小規模保育事業所の開所について事業計画書の提出があり、令和4年4月開所を目指していることを報告した。市としては、認可に必要な手続きを順次進めていく。

②公立幼稚園の3歳児保育・教育について

保護者からの要望や3歳児保育・教育の必要性を勘案し、公立幼稚園の3歳児教育実施に向けて検討を進めていきたいと説明した。実施園としては、鴨方東幼稚園を令和5年度実施を目標に検討していく。委員の方からは、今後の園児数の見込みや、鴨方東幼稚園だけでなく鴨方西幼稚園も同時に実施してほしいという意見をいただいた。今後は3歳児保育・教育の実施に向け様々な意見をいただきながら、クラス編成等の人数をどうしていくか、今後こういった風に進めていくか検討していきたいと思っている。

(教育委員)

委員として会議に出席した。小規模保育事業の今後の課題として、どちらの事業所も、もともとの認定こども園の0・1・2歳児クラスがあるが、新たに小規模保育事業としても受け入れ可能となった際に、保護者がどちらを選択するかということが課題になってくると思った。

(こども未来課長)

基本的に保護者の方が保育の申込をするが、その際園の希望を出していただき、希望園の調整後、ご本人が希望される園への入園を順次進めていくことになる。保護者の方がまずどういった希望をされるかということにはなる。

(教育長)

小規模保育は、現在からいうとプラスでの受け入れにはなる。

(こども未来課長)

現在、希望園に入れていない方は30人を超えている。

(教育次長)

小規模保育事業所の課題として、3歳以降の受け入れ先を確保する必要がある。現在ある3歳クラスの人数調整が、今後必要になってくると考えられる。

(教育委員)

公立幼稚園の3歳児保育・教育について、鴨方東幼稚園は令和5年4月からということが示され、鴨方西幼稚園については検討するということがあったが、その理由はなにか。

(こども未来課長)

まずは子どもの数と思っている。幼稚園の教育を受けるにあたっては集団の学びの中で教育を行っていく必要があるが、集団の規模をどの程度にするかというところを、まずは検討しなければならないと思っている。今の未就園児数を見ながら進めていく中で、鴨方西幼稚園についてどうするかということは、今検討中である。

(教育委員)

子どもの数というのは、鴨方西幼稚園のみのことか。全体のことか。

(こども未来課長)

その学区の未就園児の全体数と、その学区全体の子ども的人数を考えていく。

(教育次長)

検討するとはいいながら、前向きに考えていこうとは思っている。ただ、3歳児教育を実施するとして、3・4・5歳あわせても少人数だった場合どうするかということ等も今後考えていかなければならないと思っている。ただ、現時点ではやってみないと分からない点も多いため、前向きに検討するとしている。

(教育委員)

心情論になってしまうが、ここで鴨方西幼稚園を外すということはよろしくないと思う。鴨方西幼稚園を外すのであれば、鴨方東幼稚園もしない方が良く思う。実施した結果として鴨方西幼稚園の人数が少ないこともあるとは思いますが、今ここでは平等性を教育委員会として示す必要があると思う。ここまで来て人数の問題ではないと思う。鴨方西幼稚園学区の保護者の方が、この周辺には0～2歳の受け入れ先が無い、鴨方東幼稚園周辺には敬親かもがた保育園・はちまんこども園・六条院こども園も選択肢としてあるが、鴨方西幼稚園周辺には全くない、それはどうしてかと言われていた。人数のことを言われるのであれば、鴨方東幼稚園と鴨方西幼稚園を統合して認定こども園にするなど、何らかの受け皿を公平な形で作ってあげることも必要なのではないかと思う。

(教育委員)

今後検討していくという中で、鴨方東幼稚園のみ令和5年度からという方針を打ち出し、鴨方西幼稚園について触れていないというのは、どうかという気もする。鴨方西幼稚園についても現実的にお示しした方が納得いただけると思う。鴨方西幼稚園について現段階で示すことができないのであれば、鴨方東幼稚園についても検討するというところで止めておいた方がよいと思う。

(教育委員)

市全体で考えていく必要があると思う。全体として子どもは減っていく。数人のクラスが色々な所にでてくる。全体数がどうなっていくか推測し、全体を通して考えていく必要があると思う。

(教育委員)

今後子ども全体が減っていくことを考えれば、例えば昔、金光地区には3つ幼稚園があったが、今は金光幼稚園に集約し、3歳児教育を行っている。それと同じように、例えば鴨方東幼稚園と鴨方西幼稚園を集約して、そこに3歳児を受け入れるのも一つの方法としてあるのかなと、今は思う。

(教育長)

皆様のご意見として、鴨方東幼稚園の方針を示しているのに鴨方西幼稚園については触れていないというご指摘について

は、方針をお示ししていく必要があると思う。そしてもう一つ、集団としての教育を考えた際に、教育委員会としても何人になったらどうするといった見通しを決めておく必要があると思う。今の複式の基準を確認したい。

(こども未来課長)

現在の4歳児及び5歳児の複式学級の基準として、「4歳児と5歳児合わせて10人未満であれば複式学級」又は「4歳児と5歳児のどちらかのクラス的人数が5人未満である場合には複式学級」となる。

(教育長)

その基準に3歳が入った場合、3歳が1人2人入ったとしても、3・4・5歳で10人に満たない場合は複式学級ということも考えられると思う。また、それでもまだ集団が小さい場合は集団を一つにするということも考えられるが、その基準や方向性を決める必要があると思う。ただ、今の段階で鴨方東幼稚園と鴨方西幼稚園を一緒にするかどうかということを決めるのは早急すぎると思う。もしするのであれば協議会などを立ち上げ、そこで意見を集約し決定していくということになると思う。ただ現時点としては鴨方西幼稚園についても3歳児の方向性を出していく必要があると思う。子ども・子育て会議の中ではもう少し地域の意見を聞いていくということになっている。

(教育次長)

教育を語る会や民生委員さん・当事者である保護者の方の話を聞く機会を持ちながら進めたいと思っている。3歳児保育を始めるに当たっては、備品購入の予算がいる程度でハード面については問題ないため、もう少し検討する時間があると思っている。教育委員会としては前向きに考えている。

(文化振興課長)

表彰について

浅口市寄島町アッケシソウを守る会が公益社団法人・環境生活文化機構の2021年度持続可能な社会づくり活動表彰・生物多様性保全活動賞受賞が決定した。県内では初受賞となる。

高梁川流域連盟フォトコンテストと高校生絵画展について

高梁川流域連盟フォトコンテストと高校生絵画展を令和3年12月1日から12日までふれあい交流館「サンパレア」で開催する。

第13回浅口市長杯中学生英語スピーチコンテストについて令和3年11月9日に予定どおり第13回浅口市長杯中学生英語スピーチコンテストを実施した。結果については資料のとおりである。審査員からは、英語力のレベルが上がってきている、創作の内容についても郷土のことやSDGsのことなど、人に伝えていくべき素晴らしい内容であったと講評をいただいた。創作の部の受賞者の英文を添付しているのでご覧いただきたい。

(教育次長)

創作の部の受賞作品などを考えるに、寄島学園としてSDGsにも力を入れているところであるが、先生方が力を入れてくださった成果ではないかと思う。

(教育長)

創作の部が増えたことはとても良いことだと思う。金光の吉備神楽のことなども出てくるが、それをしっかり伝えていきたい、発信していきたいということがよくわかった。

(生涯学習課長)

令和4年成人式について

令和4年1月9日(日曜日)13時30分から令和4年成人式を開催する予定である。対象者は、現時点で306名、例年通り250人程度出席者を見込んでいる。11月7日開催の実行委員会において実施方法などを協議した。決定事項としては、場所はふれあい交流館「サンパレア」、例年通り1回の開催、式典後に記念撮影を実施、式典後の分散会(立食パーティー)は実施しない、個人撮影用のバックボードを設置する。また、登壇者を除く来賓の出席はご遠慮いただく。恩師の方が出席できないということになるため、恩師からのビデオレターを上映する。実行委員会が恩師のところへ撮影しに伺う予定。新型コロナウイルス感染対策として、事前の出席確認、注意喚起文書の送付など行う。

市立公民館における使用許可の基準について

市立公民館については、営利活動・宗教活動・政治活動に関しては使用を許可していない。その根拠は、社会教育法の第23条、浅口市公民館条例第7条第3項第1号で法第23上に該当すると認められるものについては許可をしてはならないということからきている。ただ、平成27年に国会議員から「公民館を政治家に貸し出せないか」という質問について、内閣総理大臣は「特定の政党に特に有利不利な条件で利用させることや、特定の政党に偏って利用させることは許されないが、公民館を政党又は政治家に利用させることを一般的に禁止するものではない」と回答している。その後、平成30年文部科学省からも「全面的に禁止するものではない」と事務連絡がきている。このことから浅口市においても使用許可に関する基準の必要性を感じており、他の自治体の情報も収集しながらたたき台を作成し、公民館運営審議会の方で協議していきたいと考えている。また結果について教育委員会会議において報告をする。

(金光分室長)

展示のお知らせについて

金光地区の小小連携に関係し、その成果物を11月20日から12月3日まで金光公民館大ホール前において展示を行う。こんな金光町にしたいという思いを模造紙1枚にまとめ、展示をする。

(寄島分室長)

アッケシソウの一般開放について

先月行われたアッケシソウの一般開放であるが、主催者発表において3,000人の来場者があったという報告を受けている。

第15回浅口市マラソン大会について

第15回浅口市マラソン大会について資料をつけているが、今年は462組、614名での開催を予定している。今年は規模を縮小し、新型コロナウイルス感染対策で簡素化できるところは簡素化し、会場内を選手と応援の方とを区分けする等計画している。例年来賓の方に表彰式の際の授与者としてご協力

頂いていたが、できるだけ少ない人数で実施するため来賓は
ご遠慮いただくこととしたい。

日程 5 その他について
(教育総務課長)

放課後児童クラブ訪問について

12月教育委員会議にあわせて、教育委員会議後に放課後児童
クラブを訪問してはどうかと思っている。訪問先については
鴨方東小学校・六条院小学校児童クラブを考えている。

次回教育委員会議

令和3年12月15日(水)13時30分から

令和3年12月15日

浅口市教育委員会

教 育 長 中野留美

委 員 佐藤賢次

作成職員 山崎友紀